

デュオよこすか便り

第4回 横須賀学童保育指導員会

女性の社会進出が進み共働き家庭が増えている今、子どもたちを育てる上でなくてはならないのが学童クラブです。学童クラブは、共働きやひとり親家庭等の小学生が、放課後や長期休みなどの間に生活の場として利用する施設で、子どもたちの居場所確保と健全育成を目的に作られています。

横須賀市には 53 の学童クラブがあり、すべて民設民営となっています。

設立にあたっては地域の保護者らが、場所探しに始まって運営や会計などの諸業務を行います。そして現場で活躍するのが「指導員」です。

横須賀学童保育指導員会では、そうした指導員の方たちが、様々な研修や学習会などを通じて課題の共有やスキルアップを図っています。

民設の良さは、保護者と地域と指導員が、対等な立場で、同じ目的を共有し合いニーズに合った運営ができることだと言えます。

しかし、資金面や指導員の待遇面から横須賀では 10 年

以上働く学童指導員がまだまだ少なく、3年間で7割の指導員が辞めていく状況だそうです。

そんな中、長年学童保育指導員として頑張っておられる方もいらっしゃいます。

今回お話を伺った岩戸大矢部学童クラブの飛鳥井祐貴さんは「子どもたちとのふれあいや成長を見守ることにやりがいを感じているから続けています。子どものためという目的がぶれることはないです」とおっしゃっていました。



デュオよこすかご活動している登録団体をご紹介しま

相談室コーナー

こんにちは！『デュオよこすか女性のための相談室』です。このコーナーでは、さまざまなご相談が寄せられる中で相談室が感じることを、少しでもお役に立てたらいいな、という気持ちでご紹介していきます。

第5回 ご注意!! それもDVです!

『夫が、数時間おきに電話をしてくる。『何をしているのか』『何時に帰るのか』としつこく聞き、電話に出なかったり答えなかったりすると怒ります。外出するのも嫌になってきました。』

彼女は「自分が愛されているからだ」と言いますが、これもDV(ドメスティック・バイオレンス)に当てはまる可能性があります。「社会的暴力」といい、親・兄弟姉妹、友人との付き合いをさせない、外出を制限する、勝手にメールをチェック・削除することなどがこれに当たります。

DVというと、殴る蹴るなどの「身体的暴力」をイメージするかもしれませんが、無視する、大声で怒鳴る、大切にしている物を壊したり捨てたりする「精神的暴力」、性行為を強要する、避妊に協力しないなどの「性的暴力」、生活費を渡さない、借金を重ねる、働いて収入を得ることを妨げる「経済的暴力」も当てはまります。

内閣府の調査によると、3人に1人が何らかの被害にあっています。被害者の多くは女性です。女性は経済的に自立困難な人が多いこと、「女は男に従うものだ」「どんな

人でも父親は必要だから母親は我慢すべき」という意識が社会の根底にあるからです。

被害者は「私を愛しているから」「私にも悪いところがあるから」「本当は優しい人だからいつか暴力をやめてくれる」「子どものために我慢しよう」と気持ちが揺れてしまうかもしれません。

相手をコントロールするための暴力は、愛情ではありません。人権侵害であり、犯罪行為です。たとえ親しい人でも、暴力は絶対に許されません。DVは、暴力と優しさを繰り返しながら、命に関わる事態にまでエスカレートすることもあります。

さらに、子どもがDVを目の当たりにすると精神的影響が大きいことから、児童虐待にも該当します。

家の外では穏やかで社会的に信頼されている加害者も多く「話しても信じてもらえない」と心配になるかもしれません。また、家庭内のことを人に相談するのは大変勇気がいることだと思います。しかし、早い段階での対応が大切ですので、一人で悩まずにご相談ください。

- 緊急時!! 身の危険を感じたら
→ 110番 (もしくは最寄りの警察署)
- DV相談 (子ども青少年支援課)
→ ☎046 (822) 8307 (平日10時~16時)
- 「これはおかしいかな?」と疑問に感じた時、問い合わせ、気持ちの整理をしたい時
→ デュオよこすか女性のための相談室 ☎046 (828) 8177 (月・水・金 9時~16時)



人権・男女共同参画課から

3組に1組?! 保護者向けデートDV予防ワークショップ

「デートDV」とは、恋人同士の間で起きる暴力のことです。子どもをとりまく大人として知っておきたいことや相談を受けたときの対応方法などを学びます。

と き: 11月13日(水) 14時~16時

と ころ: 総合福祉会館5階 視聴覚室

対 象: 中学生や高校生の保護者、教職員、デートDVに関心のある方

定 員: 30人程度

内 容: 参加体験型ワークショップ、デートDVの現状、発見した際の対応方法や相談機関の紹介など

申し込み: FAX (045-323-1819) かEメール (kanagawa-cap-miracle@isis.ocn.ne.jp) に、氏名と連絡先(電話番号かEメールアドレス)、保護者・教職員・その他の別を書いて、NPO法人エンパワメントかながわへ。

*応募者多数の場合はお断りすることがあります。

【問い合わせ】人権・男女共同参画課 (☎046-822-8228)

デュオスタッフおすすすめBook



置かれた場所で咲きなさい

渡辺和子(幻冬舎) 2012年

ノートルダム清心学園理事長である著者の実体験に基づく言葉が、多くの人の胸を打ち、2012年ベストセラーランキング2位を獲得した本。

境遇を選ぶことはできないが、生き方を選ぶことができる。時間の使い方は、そのまま、いのちの使い方なのです…

編集後記

35号は、男女共同参画プランの紹介をメインとしたため、すべて人権・男女共同参画課で作成しました。次号からは、サポーター会議の新メンバーが編集に加わります。どうぞ、お楽しみに!

◎この広報紙は 10,000 部作成し、1 部あたりの印刷経費は 18.9 円です。

◎この広報紙は、グリーン購入法に基づく横須賀市グリーン購入調達方針の判断基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料(Aランク)のみを用いて作成しています。

New Wave

平成 25 年 (2013 年) 10 月発行

横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

☎046-822-8228

E-mail: we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

HP: http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/index.html

35号

ワークとライフのバランスが大切

表1) 男女共同参画社会をつくるために最も必要な横須賀市における取り組み (平成23年市民意識調査)

1位	事業所に仕事と家庭を両立しやすい労働条件の整備・改善を働きかける	43.1%
2位	介護施設、介護サービスを充実する	30.7%
3位	多様な保育サービスを充実する	24.9%
4位	学校教育における男女共同参画を進める	13.9%
5位	ひとり親世帯の生活を安定させるための支援を充実する	11.3%

表2) より満ち足りた人生を送るために望ましい働き方 (平成23年市民意識調査)

	総数	女性	男性
合計(人)	1,215	709	505
仕事を生きがいとして最優先する	1.7%	0.6%	3.2%
仕事よりも家庭や自分の時間を優先する	15.8%	15.4%	16.4%
仕事と家庭のバランスが取れた生活スタイルをつくる	79.3%	81.5%	76.4%
その他	3.1%	2.5%	4.0%

男性の育児休業

男性の育児休業取得率は、毎年2%前後とあまり増えていません。

しかし、平成20年の厚生労働省調査では、男性の約30%が「育児休業制度を利用したい」という意向があることが分かりました。

取得しなかった理由(複数回答)は、1位が「職場に迷惑がかかる(50.0%)」、2位が「取得する必要を感じなかった(34.9%)」、3位が「家計への影響(27.4%)」でした。



・・・カエル! ジャパンに登録しました・・・

横須賀市は、国が主導する「カエル! ジャパン」に5月30日付けに登録しました。市も一事業者としてワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる姿勢を明らかにし、市内事業者に働きかけます。「カエル! ジャパン」の取り組みに参加し、さまざまな機会にこのロゴマークを活用します。

※カエル! ジャパンキャンペーン

「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)憲章」及び「仕事と生活の調和推進のための行動指針」に基づく取り組みを効果的に推進するため、平成20年6月に始まりました。登録は2,000件を超えており、国や地方公共団体等も218件の登録があります。

